

令和 6 年度

大阪府立寝屋川高等学校

学校教育自己診断

結果と分析

実施日 令和 6 年 12 月

Google Form で実施

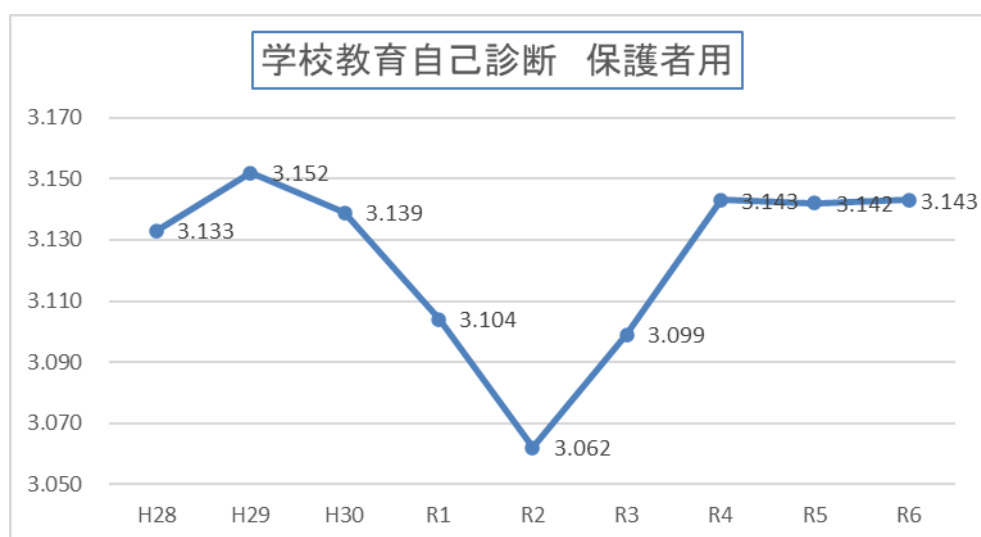
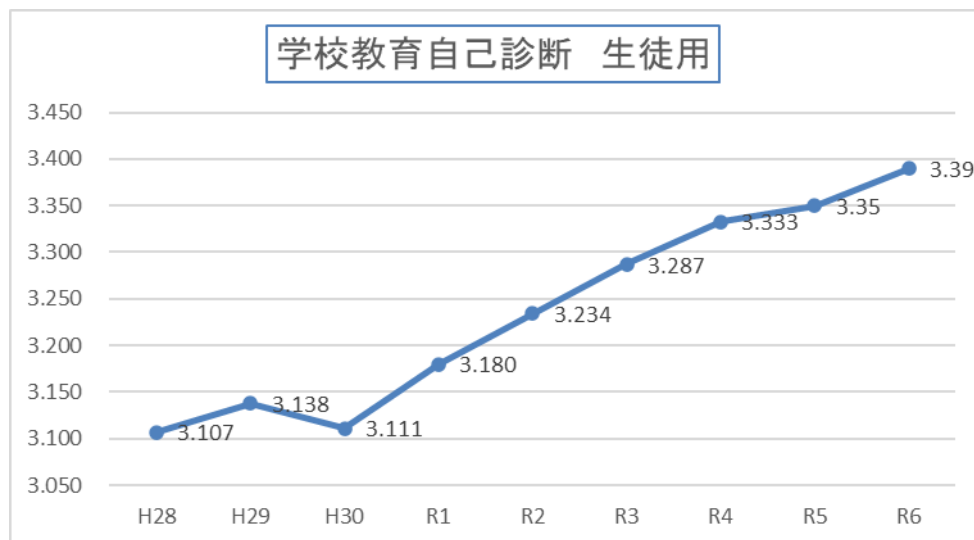
実施対象 生徒 903／993 (90.9%)

保護者 518／993 (52.2 %)

教職員 49／62 (79.0 %)

全項目の平均値 経年変化

『そう思う』:4点 『どちらかといえばそう思う』:3点 『どちらかといえばそう思わない』:2点 『そう思わない』:1点
とした平均値（値が4に近づくほど評価が高い）



生徒編

教育庁から指示のあった必須3項目を加えた昨年度と同様の全17項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的に回答が80%を超えた項目は、昨年度から1項目増え15項目、うち90%を超えたのは11項目だった。

評価数値※1の全項目平均値は年々上昇傾向にあり、過去最高値だった昨年度をさらに上回る結果となった。昨年度比較で、15項目とほとんどの項目において上回り、10項目において過去最高値となった。

※1)『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

評価数値が昨年度を上回った項目（増加率順上位5項目）

- 「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」〈1人1台端末〉
- 「私は部活動によって、人として成長していると感じる」〈特別活動〉
- 「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」〈道德・人権〉
- 「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」〈学習〉
- 「私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に楽しく参加している」〈特別活動〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

- 「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」〈学校生活〉
- 「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。」〈学習〉

- ① 重要項目である「学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている」の数値が過去最高の3.53(肯定的回答93.8%)になり、強い肯定については昨年よりも3.1%増加した。
「寝屋川高校生であることを誇りに思う」についても2年連続の下降から3.18→3.22に戻した。寝屋川高校の教育活動がより充実した1年だったとことがうかがえる。しかしこの数値を高いとは捉えず、1人でも多くの生徒が入学してよかったと思える学校をめざしたい。
- ② 「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」の項目では3.04→3.28と昨年度よりも数値が大幅に上昇した。学年別では3年2.6→3.1, 2年3.2→3.3, 1年3.3→3.5と、特に3年生での活用が伸びた。進路部を中心にスタディサプリの活用を促したことで、授業だけでなく学習面で端末を活用する割合が増えたことが理由として考えられる。また1年生では91.8%の生徒が肯定的な回答をしているが、これは数学においてデジタル教科書とデジタル問題集に切り替えたことが要因の1つとして挙げられる。
- ③ 「私は部活動によって、人として成長していると感じる」は3.47→3.54、肯定的回答が94.1%と昨年度より2.3%増え、昨年度が下がった数値を戻した形となった。50分3学期に移行し昨年度より活動時間が減少したなかその影響は少なく、時間の使い方や教員が意識して生徒たちへ働きかけとことが要因の1つとして挙げられる。
- ④ 「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」は4年連続数値が上昇し3.60、肯定的回答は97.4%にものぼった。いずれの学年も昨年度比較で数値は上がっているが、例年と異なる点として強い肯定は1年生が最も高い数値であった。1年生では土

曜講習はもちろん、それ以外に夏期講習、冬期講習を国数英の3教科を中心に複数の教科で実施、昼休みにも補習するなど、学年進路が中心となり講習や補習に力を入れた結果と考えられる。

- ⑤ 「私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している」が過去最高値を記録するとともに「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」の両項目においても過去最高値となり、文武両道を実践し充実した学校生活を送っている生徒が増えて来たことがうかがえる。
- ⑥ 「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」および「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」の両項目がそれぞれ 3.04、3.10 と過去最高値ではあるが常に低い水準にある。これは育てたい生徒像として『自考自走』というテーマをもって1年間教育活動に当たったことやスタディサプリの利用をはじめとする進路部を中心とした生徒への学習指導によって少しずつ改善してきているものの、日常の学習に対する生徒たちの意識の低さを表しており、さらに数値を上げるためには全教員が課題意識を持ち行動を起こす必要がある。今後の寝屋川高校の伸びしろとして捉え、学校として方策を検討したい。
- ⑦ 「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」の項目は、昨年度、学校として人権学習を整理したことで大きく数値を伸ばした。そこからさらに上昇し過去最高の 3.56 になり、肯定的回答は 96.9%と昨年度より 2.1%増えた。2年生の強い肯定の数値が昨年度の2年生より 17%増え、ジブリ映画を絡めた部落差別の講演(昨年度は LGBT の講演)が生徒に受け入れられやすかったのではないかと考えられる。

学校教育自己診断 生徒用 経年変化

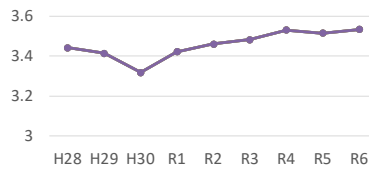
：昨年度比較で増加

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値

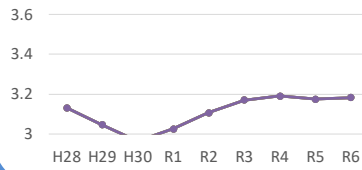
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全体	3.107	3.138	3.111	3.18	3.234	3.287	3.333	3.35	3.392
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	3.443	3.413	3.317	3.422	3.46	3.482	3.531	3.515	3.534
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。	3.13	3.045	2.963	3.025	3.106	3.17	3.191	3.174	3.183
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。								3.365	3.339
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。相談する機会を設けている(R4年度まで)	3.254	3.206	3.172	3.229	3.283	3.273	3.386	3.554	3.557
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。								3.421	3.446
学校には、悩みを相談できる人や場所がある。	3.032	2.991	3.025	3.066	3.107	3.153	3.318	3.299	3.327
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	3.193	3.102	3.072	3.131	3.183	3.333	3.413	3.401	3.398
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	3.27	3.039	3.293	3.376	3.396	3.265	3.151	3.489	3.555
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している。	3.307	3.37	3.276	3.337	3.394	3.508	3.588	3.6	3.655
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができてい	2.809	2.855	2.833	2.908	2.939	2.899	2.955	2.991	3.042
私は部活動によって、人として成長していると感じる。自分は部活動に意欲的に参加していて、成長していると思う(R4年度まで)	3.143	3.33	3.308	3.43	3.439	3.509	3.547	3.469	3.543
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。								3.045	3.276
先生は教え方を工夫してよく分かる授業をしてくれる。	3.15	3.095	3.057	3.153	3.202	3.273	3.332	3.289	3.291
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	3.219	3.202	3.129	3.198	3.168	3.273	3.512	3.38	3.401
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	3.585	3.491	3.387	3.417	3.314	3.44	3.466	3.541	3.603
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を待つように努力している。	2.936	2.989	2.902	2.911	2.98	2.985	3.009	3.071	3.1
私は寝屋川高校生であることを誇りに思う	3.138	3.039	2.949	3.082	3.155	3.26	3.242	3.181	3.22

学校教育自己診断 生徒用経年変化 R6回答数903人

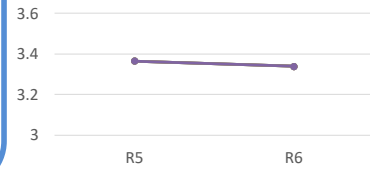
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。



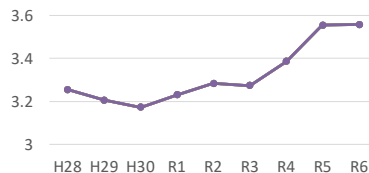
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。



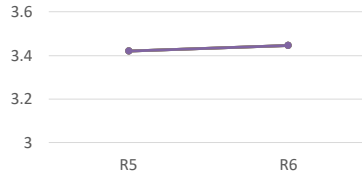
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。



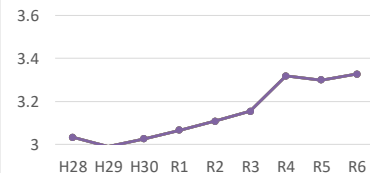
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。



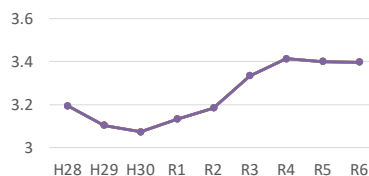
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。



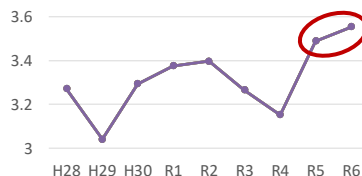
学校には、悩みを相談できる人や場所がある。



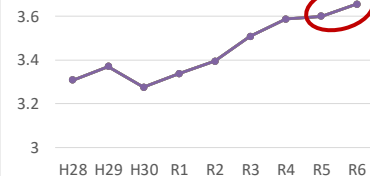
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。



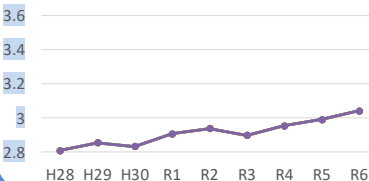
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。



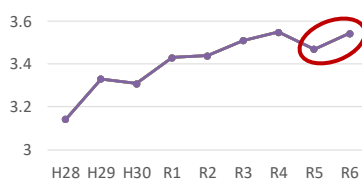
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している。



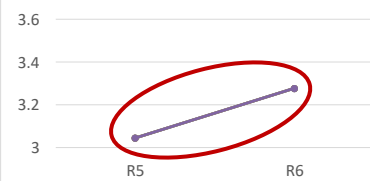
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている。



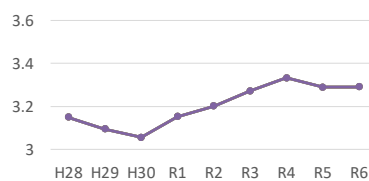
私は部活動によって、人として成長していると感じる。



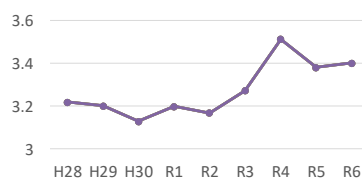
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。



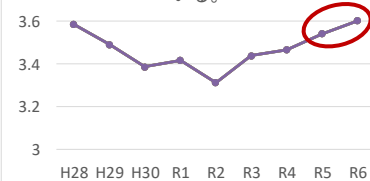
先生は教え方を工夫してよく分かる授業をしてくれる。



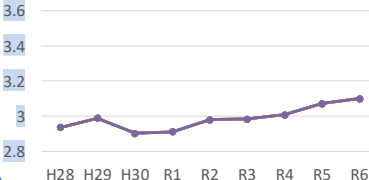
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。



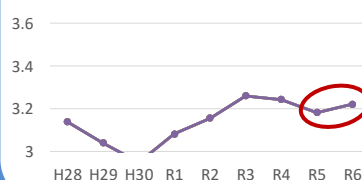
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。



自分で計画を立て、家庭で学習する時間を待つように努力している。



私は寝屋川高校生であることを誇りに思う。



生徒 肯定的な回答の割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

2%以上上昇項目: 5

2%以上下降項目: 0

	1年	2年	3年	R.4(%)	R.5(%)	R.6(%)
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	92.8	93.4	95.1	94.5	93.9	93.8
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。	89.6	90.4	83.7	87.4	85.0	87.9
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。	91.1	93	92.6		92.9	92.2
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	96.9	96.4	94	92.0	96.7	95.8
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。	97.1	96.1	96.1		95.4	96.4
学校には悩みを相談できる人や場所がある。	89.6	83.5	90.8	86.7	88.1	88.0
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	93.6	92.8	91.9		92.8	92.8
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	99.7	95.7	95.4	82.3	94.8	96.9
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	94.7	96.1	97.9	94.9	94.9	96.2
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	71.9	70.6	84.1	72.0	74.2	75.5
私は部活動によって、人として成長していると感じる。R6:無所属105(11.6%)を除く	95	90.8	96.5	92.9	91.8	94.1
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	91.8	84.8	79.5		74.9	85.4
先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる。	86.1	92.1	94.3	92.7	91.1	90.8
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	93.1	94.4	92.9	92.8	90.8	93.5
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	97.8	95.1	99.3	94.4	96.8	97.4
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	72.6	70.9	89.4	75.1	78.2	77.6
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	81.4	85.2	87.2	86.7	83.9	84.6

生徒 強い肯定の割合 経年比較

3P以上上昇項目: 7
3P以下下降項目: 0

(そう思う)	1年	2年	3年	R.4(%)	R.5(%)	R.6(%)
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	62.5	55.1	68.6	59.7	59.0	62.1
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。	35.3	34	30.7	34.4	35.7	33.3
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。	41.6	43.2	44.9	0.0	45.5	43.2
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	66.9	62.4	53.7	47.8	59.3	61.0
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。	51.7	47.9	46.6	0.0	48.0	48.7
学校には悩みを相談できる人や場所がある。	48.6	45.5	49.1	47.4	45.6	47.7
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	47.9	46.9	50.2	50.4	49.1	48.3
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	65	60.4	51.6	35.7	55.1	59.0
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している。	72.9	65.7	73.9	65.6	66.3	70.8
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	29.3	29.7	42.8	30.0	32.2	33.9
私は部活動によって、人として成長していると感じる。R6:無所属105(11.6%)を除く	61.7	55.4	69.9	63.7	57.2	62.3
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	59	44.9	36		38.2	46.6
先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる。	41	37.3	41.3	42.8	40.3	39.9
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	42.3	54.1	46.6	58.6	48.7	47.7
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	65.6	60.4	64.3	53.1	57.8	63.4
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	31.9	32	50.2	33.2	35.3	38.0
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	41	41.3	45.9	42.1	39.6	42.7

保 護 者 編

教育庁から指示のあった必須1項目を加えた昨年度と同様の全16項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が80%を超えた項目は、13項目（R5は14項目）、90%を超えたのは8項目（R4は7項目）だった。

評価数値※1の全項目平均値は3.14と横ばいであった。

※1)『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

評価数値が昨年度を上回った項目（増加率順上位5項目）

「学校は子どもの様子を実際に見る機会を設けている」〈情報提供〉

「学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している」〈情報提供〉

「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」〈学習〉

「学園祭や体育祭など学校行事は充実している」〈その他〉

「学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」〈いじめ〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」〈学校に対する意識〉

「学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる」〈学習〉

「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」〈学習〉

- ① 重要項目である「入学させて良かったと満足している」では数値が直近4年間微増を続け、3.54と過去最高値となり、肯定的な回答は93.6%（強い肯定60.8%）と高い水準を保っている。しかし、6.4%の保護者は否定的な回答であり、この部分に注目すべきと考えている。「学校は保護者の願いや期待に応えようとしている」の項目は2年連続で下降、3.05（肯定的回答84.3%）と過去最低値になった。今後、保護者の意見を聞く新たな機会を増やし、コミュニケーションを大切にすることで、よりニーズに対応した学校をめざしたい。
- ② 「学校は子どもの様子を実際に見る機会を設けている」の数値は3.21→3.32（肯定的回答91.1%）過去最高値となり、項目別上昇率が最も大きかった。体育祭やコーラスコンクールにおいてPTA役員席を増設し参加してもらいやすくなったことが数値に影響したと考えられる。「学園祭や体育祭などの学校行事は充実している」の項目が3.41（肯定的回答94.6%）と過去最高値になり、実際に生徒たちの活動を見てもらい、それが高評価を得るという良い結果が得られた。
- ③ 「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」の項目については、数値が2.79（肯定的な回答は67.0%）と他の項目に比べ低い水準が続いている。対して「学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる」の肯定的回答が79.9%、生徒編の「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」の数値が肯定的回答97.4%と過去最高値だったことから、学校は学力向上のための方策を講じているといえる。しかしながら、保護者が望むような成果は得られていないことを示しており、また6割の生徒が国公立志望するなか2割程度の進学に留まっているという現状に鑑みても、学力向上に向けた取り組みを引き続き改善しながら進めていきたい。

- ④ 「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」は他項目の比べ圧倒的に低い 2.40（肯定的回答 47.3%）だった。校舎の古さに伴う傷みが多数ある事実は変えようのない中、充実した学習環境を生徒たちにどのように提供していくかは引き続き工夫すべき課題である。今後DX関係設備を充実させることやトイレの洋式化を進めることで改善を図りたい。

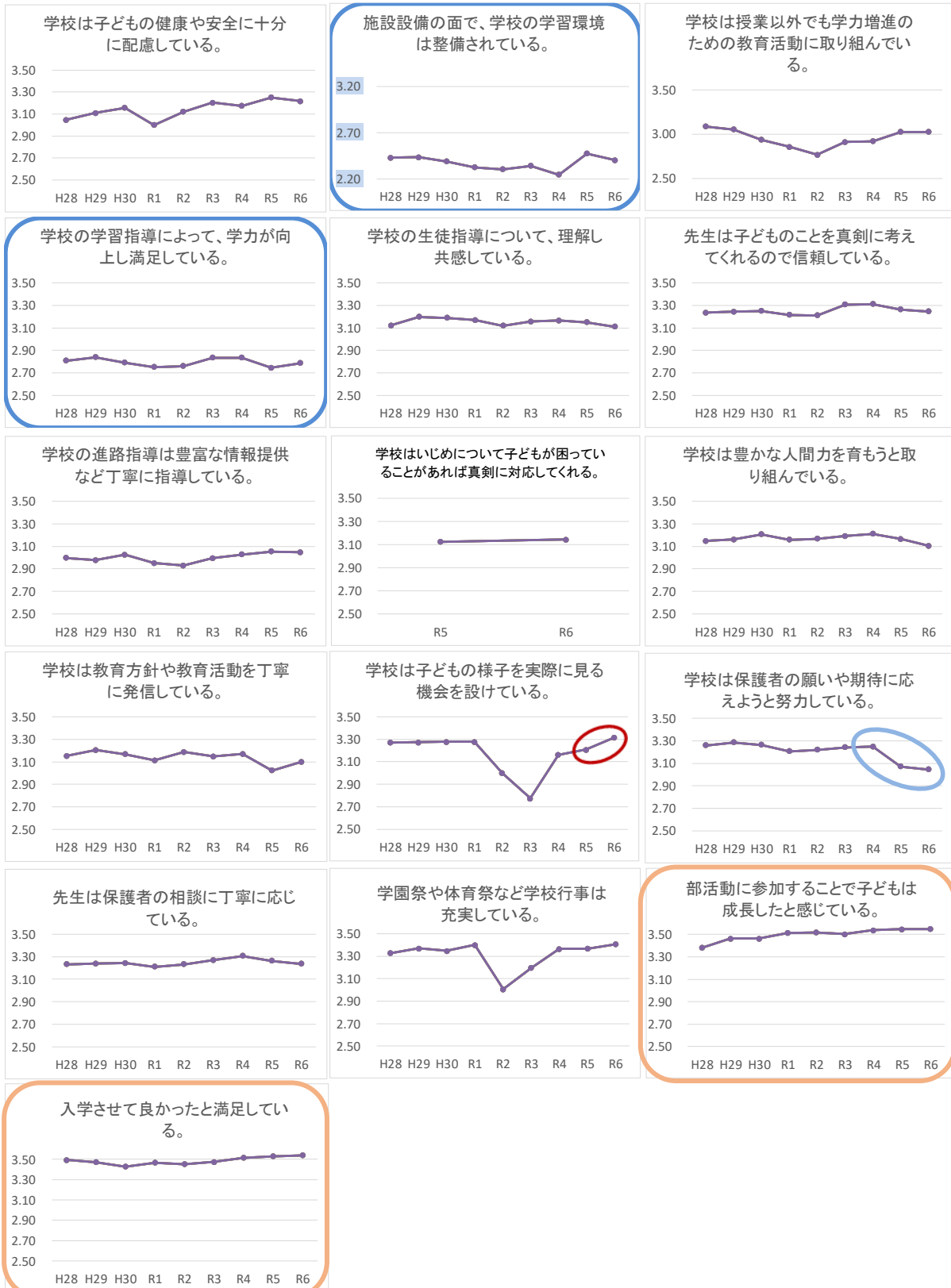
学校教育自己診断 保護者用 経年変化

：昨年度比較で増加

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全体	3.081	3.054	2.964	2.901	2.924	2.951	3.143	3.142	3.143
学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	3.05	3.11	3.16	3.00	3.12	3.20	3.18	3.25	3.22
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	2.43	2.44	2.39	2.33	2.31	2.34	2.25	2.48	2.40
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	3.09	3.05	2.94	2.86	2.77	2.91	2.92	3.03	3.03
学校の学習指導によって、学力が向上し満足している。	2.81	2.84	2.79	2.75	2.76	2.83	2.84	2.75	2.79
学校の生徒指導について、理解し共感している。	3.12	3.20	3.19	3.17	3.12	3.16	3.17	3.15	3.11
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	3.24	3.24	3.25	3.22	3.21	3.31	3.31	3.26	3.25
学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧な指導している。	3.00	2.98	3.02	2.95	2.93	2.99	3.03	3.05	3.05
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。								3.13	3.15
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	3.15	3.16	3.21	3.16	3.17	3.19	3.21	3.16	3.11
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	3.15	3.20	3.17	3.11	3.19	3.15	3.17	3.02	3.10
学校は子どもの様子を実際に見る機会を設けている。	3.27	3.27	3.28	3.28	3.00	2.78	3.16	3.21	3.32
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	3.26	3.29	3.26	3.21	3.22	3.24	3.25	3.07	3.05
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	3.23	3.24	3.24	3.21	3.23	3.27	3.31	3.26	3.24
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	3.33	3.37	3.35	3.40	3.01	3.20	3.37	3.37	3.41
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。	3.38	3.46	3.46	3.51	3.52	3.50	3.54	3.55	3.55
入学させて良かったと満足している。	3.49	3.47	3.43	3.47	3.45	3.47	3.52	3.53	3.54

学校教育自己診断 保護者用経年変化 R6回答数518人



保護者 肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

2P以上上昇項目: 4

2P以下下降項目: 6

	R.4 (%)	R.5 (%)	R.6 (%)
学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	88.4	93.5	90.7
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	38.2	49.7	47.3
学校は授業以外にも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	72.1	81.0	79.9
学校の学習指導によって、学力が向上し満足している。	67.4	64.9	67.0
学校の生徒指導について、理解し共感している。	86.5	89.5	86.5
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	89.9	91.4	90.7
学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している。	78.8	83.1	81.1
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。		92.5	92.1
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	89.7	89.9	86.9
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	86.3	80.1	84.1
学校は子どもの学校での様子を実際に見る機会を設けている。	83.3	86.3	91.1
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	90.1	86.1	84.3
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	90.9	92.4	91.7
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	91.7	93.1	94.6
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。(部活加入者のみ回答)	94.5	92.5	95.4
入学させてよかったと満足している。	94.3	95.7	93.6

保護者 強い肯定の割合 経年比較

(そう思う)

3P以上上昇項目: 2

3P以上下降項目: 2

R.4 (%)

R.5 (%)

R.6 (%)

学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	31.1	32.3	32.0
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	9.4	8.6	8.5
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	23.8	23.2	24.3
学校の学習指導によって、学力が向上し満足している。	22.7	15.1	16.0
学校の生徒指導について、理解し共感している。	32.3	27.0	26.3
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	42.9	36.2	35.3
学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している。	26.7	23.6	24.9
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。		20.6	22.8
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	32.2	27.1	25.1
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	31.6	23.6	26.8
学校は子どもの学校での様子を実際に見る機会を設けている。	35.3	35.9	41.1
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	35.9	22.0	20.8
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	41.1	35.3	32.2
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	46.4	44.8	46.9
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。(部活加入者のみ回答)	61.0	64.1	60.4
入学させてよかったと満足している。	58.6	58.0	60.8

教 職 員 編

教育庁から指示のあった必須3項目を加えた昨年度と同様の全16項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が80%を超えた項目は、全16項目のうち11項目、90%を超えたのは6項目だった。

評価数値※¹の全項目平均値は3.15と(R5は3.10)増加した。

※1)『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

評価数値が昨年度を上回った項目（増加率順上位5項目）

「校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している」〈学校組織〉

「学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している」〈教育活動改善〉

「学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる」〈学校組織〉

「学校の教育相談体制は十分に機能している」〈その他〉

「学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる」〈進路指導〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

「学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している」〈学校組織〉

「学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している」〈教育活動改善〉

「各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている」〈教育活動改善〉

「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」〈いじめ〉

「学校の人権教育体制は十分に機能している」〈その他〉

- ① 「校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している」の項目において、数値が3.02→3.27(肯定的回答93.9%)と大きく上昇した。『制服運用方法の変更』の打ち出しや、『学校の課題整理やめざす生徒像』について教員全体で考えを共有する等、社会の変化に応じた取り組みを行ったことが要因の1つとして考えられる。
- ② 「学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している」においても2.72→2.92(肯定的回答58.7%→79.5%)と過去最高の数値となり大幅に改善できた。加え、「学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる」でも3.06と過去最高値になったが、①に記した課題整理をする中で学校経営計画等、目標を教員全体で認識できたことが理由と考えられる。また数値には反映できないが、今年度から2月に総括会議を設けることでさらなる改善を図りたい。
- ③ 「学校の教育相談体制は十分に機能している」でも3.29(肯定的回答93.8%)と過去最高値となった。今年度から、昨年度までの生徒支援会議(月1回)と教育相談会議(2週1回)を1つにまとめ『支援会議』として、週1回と会議回数を増やし、より細やかに情報共有や対応策を協議できるように体制に変えたことが要因と考えられる。
- ④ 「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている」の肯定的回答が87.0%→77.6%(16項目中最低値)と下がった。これはいじめ事象に対して、教員間の認識のずれや対応姿勢の温度差が露呈したことから、この数値に繋がったと考えられる。教員間の認識のずれを解消するため、職員会議で『生徒指導提要』や『いじめの定義』の再確認をおこなった。

- ⑤ 「各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている」の項目は、R2からR4まで上昇傾向が続き、「自分は指導内容・方法など工夫・改善を行い、生徒の意欲喚起に努めている」の項目が高い水準で保たれているところからも、教職員各々が指導力向上に向けた研鑽に加え、学力向上委員会が主導する教職員全体での授業力向上の取り組みや、それを通じて各教科で育みたい資質・能力に関する目標設定の重要性の認識などがここ5年間で浸透してきていると考えられる。しかしながら、R5とR6で本項目は減少傾向に転じている。R6で全学年が観点別評価となり、3年目を迎えた今、各教科で各観点での評価基準を振り返り、調整の必要性やより良い評価のあり方についての議論が十分になされることが望まれる。また本項目の減少傾向を受けて、学力向上委員会が主導する研修内容の検討や各教科の総括で検討する必要がある。
- ⑥ 学校独自項目の「一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある」は、肯定的な回答が69.6%→63.3%と減ったが、強い肯定『そう思う』は21.7→24.5%と増える結果となった。一斉退庁日の運用については賛否両論聞かれるものではあるが、効果を感じる教員が依然として過半数を超えており、運用の仕方を一部見直したい。

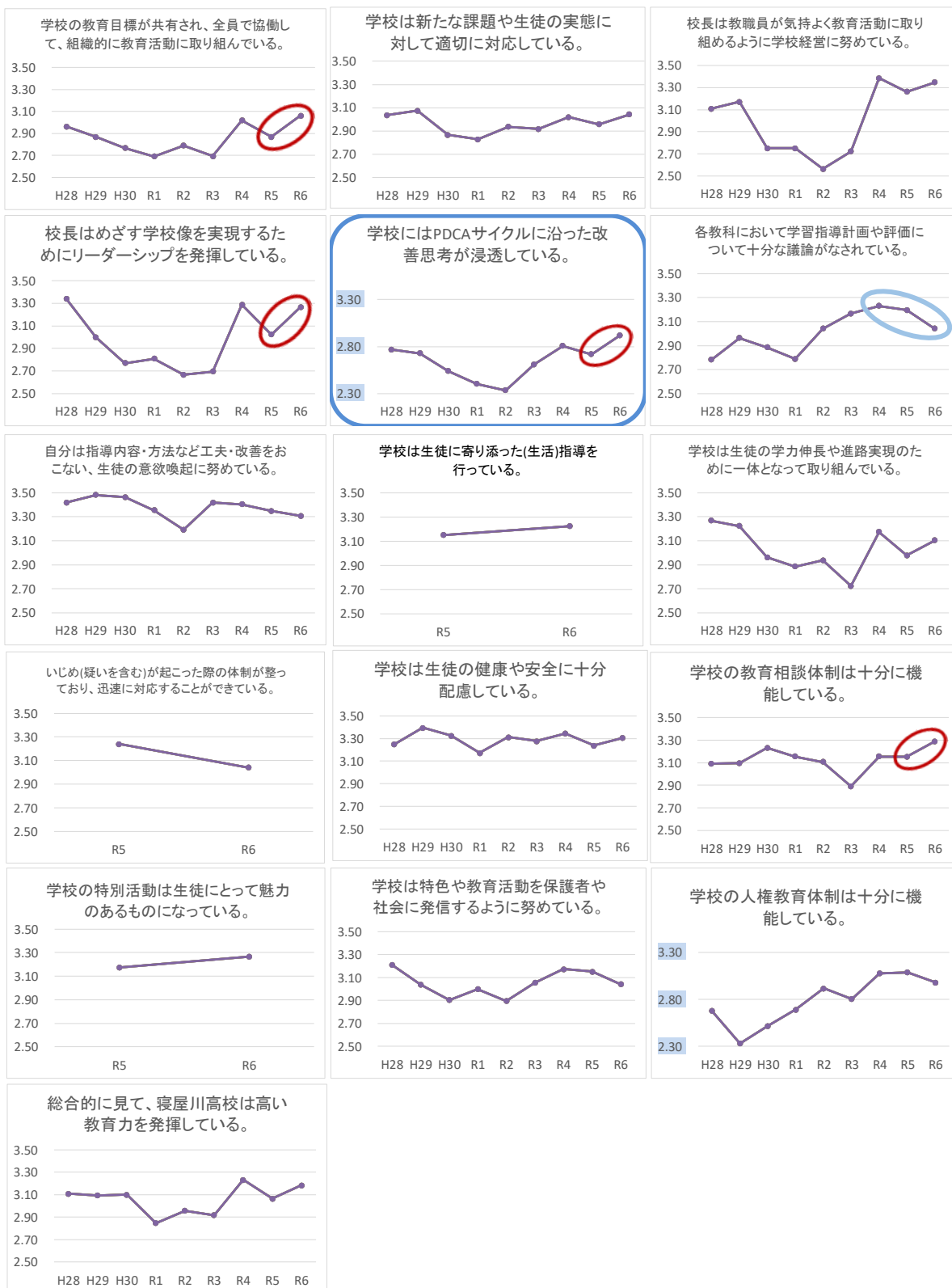
学校教育自己診断 教員用 経年変化

：昨年度比較で増加

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全体	3.08	3.05	2.96	2.90	2.92	2.95	3.18	3.10	3.15
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	2.96	2.87	2.77	2.69	2.79	2.69	3.02	2.87	3.06
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	3.04	3.07	2.87	2.83	2.94	2.92	3.02	2.96	3.04
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	3.11	3.17	2.75	2.75	2.56	2.72	3.38	3.26	3.35
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	3.34	3.00	2.77	2.81	2.67	2.69	3.29	3.02	3.27
学校にはPDCAサイクルに沿った改善思考が浸透している。	2.77	2.73	2.54	2.40	2.33	2.61	2.81	2.72	2.92
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	2.78	2.96	2.88	2.79	3.04	3.17	3.23	3.20	3.04
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	3.42	3.48	3.46	3.35	3.19	3.42	3.40	3.35	3.31
学校は生徒に寄り添った(生活)指導を行っている。								3.15	3.23
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	3.27	3.22	2.96	2.88	2.94	2.72	3.17	2.98	3.10
いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。								3.24	3.04
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	3.25	3.40	3.33	3.17	3.31	3.28	3.35	3.24	3.31
学校の教育相談体制は十分に機能している。	3.09	3.09	3.23	3.15	3.11	2.89	3.15	3.15	3.29
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。								3.17	3.27
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するように努めている。	3.21	3.04	2.90	3.00	2.90	3.06	3.17	3.15	3.04
学校の人権教育体制は十分に機能している。	2.68	2.33	2.52	2.69	2.92	2.81	3.08	3.09	2.98
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	3.11	3.09	3.10	2.85	2.96	2.92	3.23	3.07	3.18
一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある。								2.89	2.65

学校教育自己診断 教員用経年変化 R6回答数49人



教員 肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

5P以上上昇項目:5

5P以上下降項目:4

R.4 (%)

R.5 (%)

R.6 (%)

学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	90.4	71.7	87.8
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	84.7	84.8	79.7
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	90.4	95.6	97.9
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	88.5	82.6	93.9
学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している。	71.2	58.7	79.5
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	90.4	89.1	79.6
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	96.1	97.9	95.9
学校は生徒により沿った生徒（生活）指導を行っている。		91.3	93.9
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	86.5	78.2	85.7
いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。		87.0	77.6
学校は生徒の健康や安全に十分に配慮している。	94.2	93.4	89.8
学校の教育相談体制は十分に機能している。	84.6	89.2	93.8
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。		89.2	89.8
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている。	86.5	89.1	85.7
学校の人権教育体制は十分に機能している。	84.6	86.9	79.6
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	92.3	84.7	93.9
一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある。		69.6	63.3

教員 強い肯定の割合 経年比較

(そう思う)

R.4 (%)

R.5 (%)

5P以上上昇項目: 6

5P以上下降項目: 4

R.6 (%)

学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	13.5	17.4	18.4
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	21.2	15.2	24.6
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	50.0	30.4	36.7
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	42.3	19.6	32.7
学校にはP D C Aサイクルに沿った改善志向が浸透している。	13.5	17.4	12.2
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	32.7	32.6	24.5
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	44.2	37.0	34.7
学校は生徒により沿った生徒（生活）指導を行っている。		26.1	28.6
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	32.7	21.7	24.5
いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。		37.0	32.7
学校は生徒の健康や安全に十分に配慮している。	42.3	30.4	42.9
学校の教育相談体制は十分に機能している。	32.7	28.3	36.7
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。		28.3	38.8
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている。	30.8	26.1	18.4
学校の人権教育体制は十分に機能している。	28.8	21.7	20.4
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	30.8	32.6	24.5
一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある。		21.7	24.5